

# バイオマスマークご説明



バイオマスマーク

一般社団法人 日本有機資源協会 バイオマスマーク事業事務局

# 一般社団法人 日本有機資源協会（JORA）について

有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、  
持続可能な循環型社会の構築と環境保全に寄与する活動を推進

## バイオマスマーク事業

- ① バイオマスマークの審査・認定・管理
- ② 認定商品の普及



バイオマスマーク

## 技術調査事業

- ① バイオマス活用のための課題、事業性等の調査を実施
- ② テクノフォーラム開催
- ③ 情報・意見交換やビジネスマッチング

## 出版事業

- ① バイオマスプラスチック  
—基礎から最前線まで知りつくす—
- ② メタン発酵システム  
—基礎から実務まで知り尽くす—

## バイオマス活用推進事業

- ① 地域のバイオマス活用推進計画や事業化計画等の策定支援
- ② 各種バイオマス事業の可能性調査
- ③ バイオマス関連の市場調査
- ④ バイオマス活用推進のための各種委員会への参加
- ⑤ バイオマス活用推進のための普及啓発（講演等）

## 省庁等の委託・補助事業の執行

### 環境省

- ・脱炭素型循環経済システム構築促進事業

### 農林水産省

- ・国内肥料資源流通促進支援事業
- ・地域資源活用展開支援事業
- ・バイオマス活用展開調査型、先進事例の情報普及型

## 人材育成事業

- ① バイオマス活用総合講座
- ② バイオマス活用アドバイザー養成研修
- ③ メタン発酵技術アドバイザー養成研修
- ④ メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修
- ⑤ コンポスト生産管理者及び  
メタン発酵技術アドバイザーフォローアップ研修

## 普及啓発事業

- ① ホームページからの情報発信
- ② 展示会等への出展、協力
- ③ バイオマスマートサロンの開催
- ④ メールニュースの配信

## 協議会の運営

- ① バイオマス産業都市推進協議会
- ② 日本バイオマス製品推進協議会
- ③ 全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

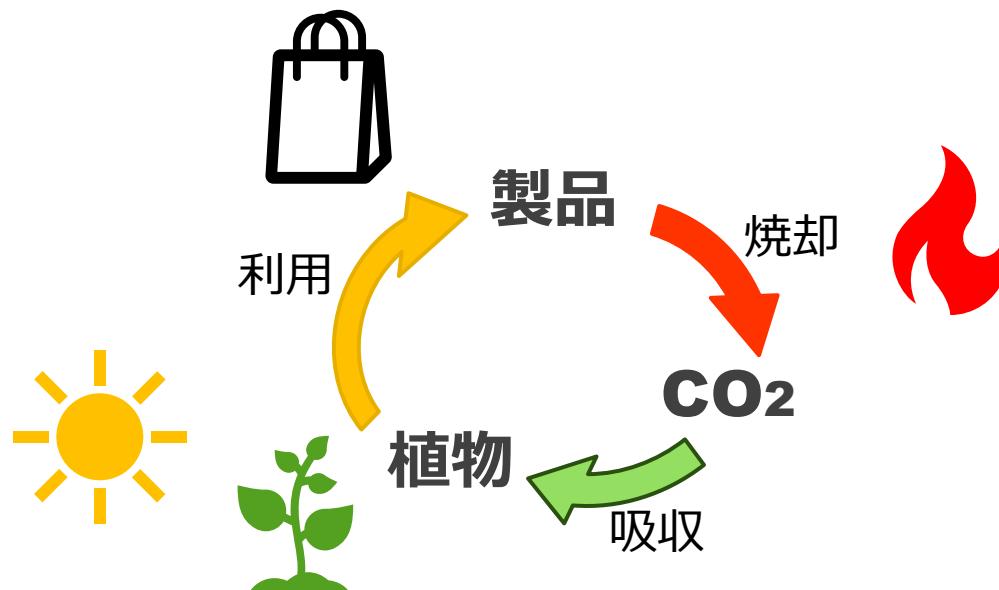
# バイオマスとは

バイオ (bio : 生物資源) + マス (mass : 量) ⇒ バイオマス  
(biomass : 動植物から生まれた有機性資源)

廃棄物系	未利用系	資源作物
家畜排せつ物 食品廃棄物 製材工場 からの廃材	農産物非食部 林地残材	糖質資源 でんぷん資源 油脂資源

# バイオマスの特徴

カーボンニュートラルな資源であるため、  
温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の増加を抑制  
バイオマスを燃焼しても大気中の二酸化炭素  
は増加しないという特性がある



## バイオマスマークの概要

生物由来の資源（バイオマス）を利用している商品に付ける目印

バイオマスに関する有識者等の第三者で構成された審査委員会の審査を受けて認定されたものに表示



バイオマスマーク

## バイオマスマーク事業の目的

- ▶ バイオマスを利用している商品情報を消費者に提供
- ▶ 商品を普及させることによりバイオマスの利用を促進
- ▶ 石油等の化石資源への依存を低減する
- ▶ 環境問題の改善や循環型社会の形成に貢献

## バイオマスマークの対象

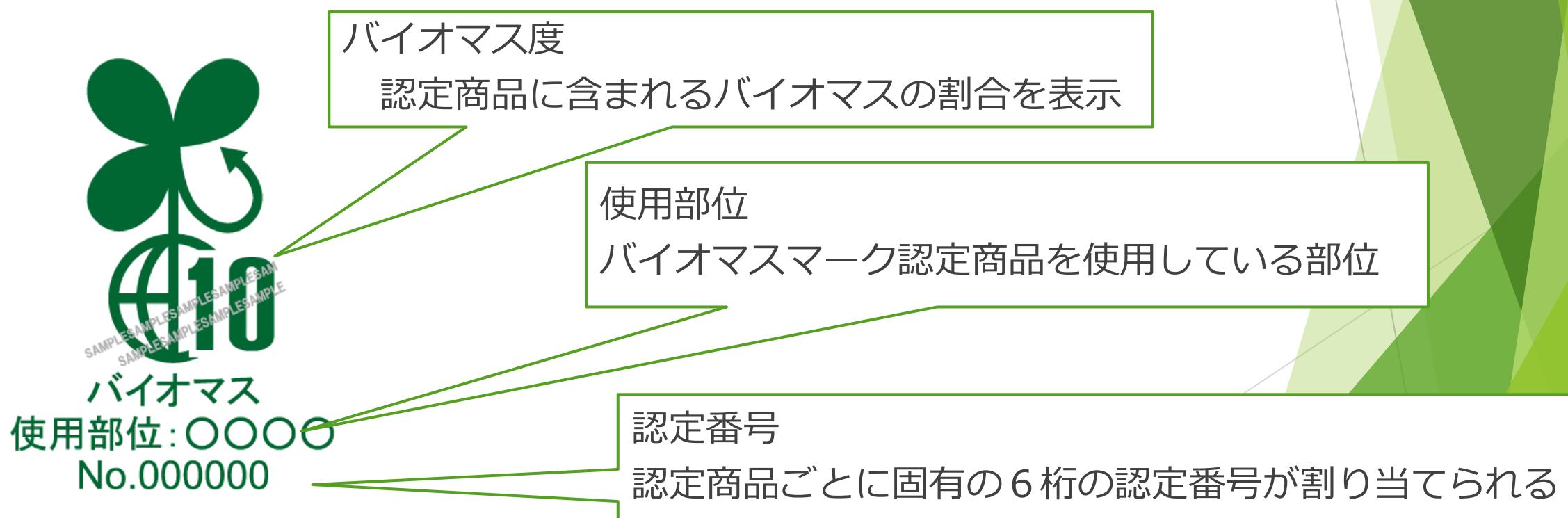
- ▶ 商品を構成する全部あるいは一部に  
**再生可能な生物由来の有機性資源 (=バイオマス)** を含むもの  
(生物が直接生産する貝殻等は含む)
  - ▶ バイオマスプラスチック
  - ▶ バイオマス複合プラスチック
  - ▶ インキ
  - ▶ 塗料
  - ▶ 粘着剤
  - ▶ 可塑剤
  - ▶ 切削油
- ▶ 申請商品乾燥重量あたり **10%以上** バイオマスを含むこと

## バイオマスマークの認定の対象とならないもの

- ▶ 生きもの
- ▶ 原毛皮、骨、種、花卉
- ▶ 一般的にバイオマス由来と知られているもの  
(例：木材由来の机や紙、天然ゴム製品)
- ▶ 食品
- ▶ 医薬品

# バイオマスマークの意味

地球から伸びるクローバーとクローバーの左側はBの裏文字  
右側はPをかたどってバイオマス製品（Biomass Products）  
矢印はカーボンニュートラルを表現



# バイオマスマークの種類



バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000



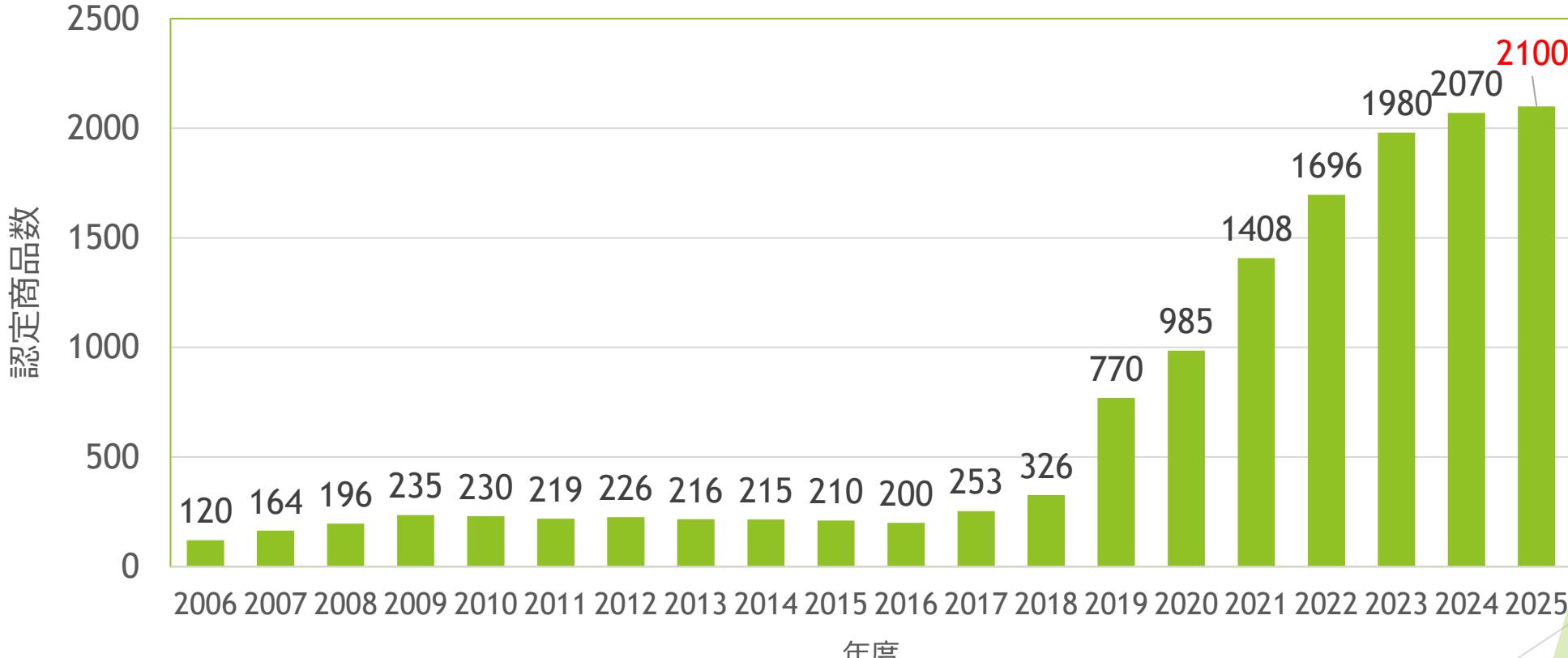
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000



バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000  
バイオマス  
No.000000

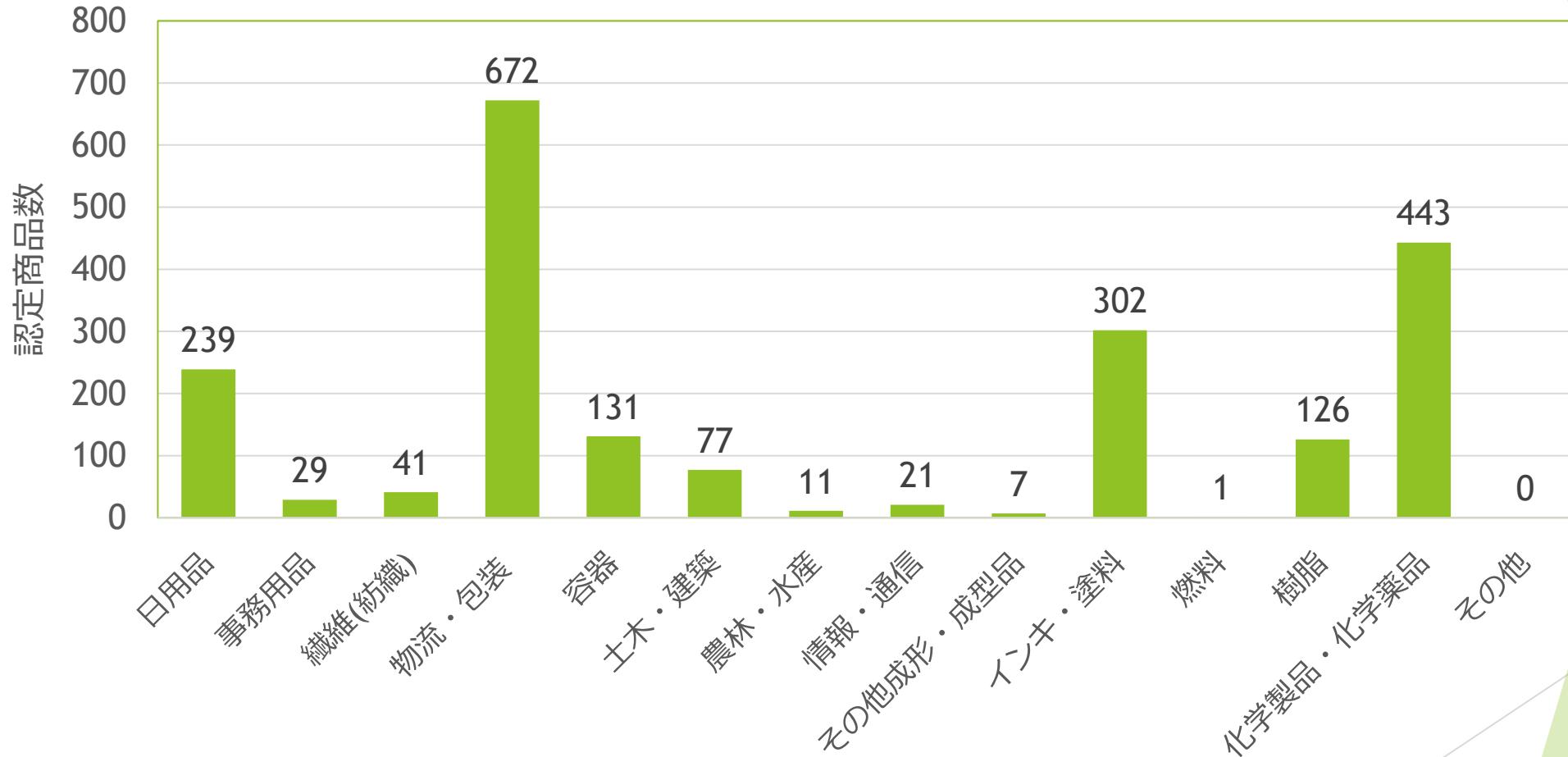
10%以上、5%刻みの表示

# バイオマスマーク認定商品数



バイオマスママーク認定商品数 ( 2026年2月2日現在 )

# バイオマスマーク認定商品数（大分類）



バイオマスマーク認定商品数（2026年2月2日現在）

# バイオマスマーク ~申請方法~

申請者



①申 請



一般社団法人 日本有機資源協会

- ・メールで申請書類提出  
(様式 1 ~ 3、SDS、バイオマス割合証明)
- ・事務局による申請書類の確認・修正
- ・原本を郵送・持参

申請締切り：毎月 20 日（休日の場合は前倒しの平日）

# バイオマスマーク ~申請方法~

申請者



④認定



一般社団法人 日本有機資源協会

- ・審査委員からの指摘への対応
- ・審査結果のご連絡  
(申請締切月から約2か月)

②審査書類提出

③審査

・書類審査

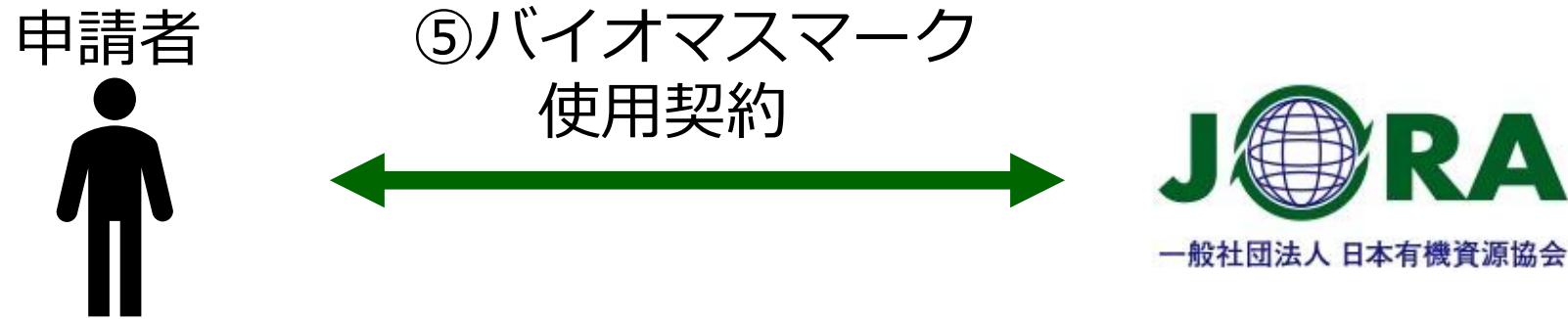
審査委員会



学識経験者

有識者

# バイオマスマーク ~使用契約~



- ・バイオマスママーク使用契約取り交わし
- ・バイオマスママークデータのお渡し

# バイオマスマークの取得のメリット

- ▶ マーク導入による商品の差別化
- ▶ 消費者へのアピール
- ▶ 顧客企業による商品採用の可能性拡大
- ▶ 展示会、当協会webサイトへの掲載
- ▶ マッチング

The screenshot shows the homepage of the Japan Organics Recycling Association (JORA) website. The main navigation bar includes links for '協会概要', '活動内容', 'バイオマスマーク', '人材育成事業', and 'お問い合わせ'. Below the navigation, a search bar is followed by a title 'バイオマスマーク認定商品' (Bio-Mark Certified Products). A large green button labeled '検索する' (Search) is prominently displayed. To the right, there is a grid of categories under 'バイオマスマーク認定商品分類' (Bio-Mark Certified Product Categories), each with a small icon and a count of items. The categories include 日用品 (Household Goods), 文具 (Stationery), 建築(紡織) (Construction/Fabric), 物流・包装 (Logistics/Packaging), 容器 (Containers), 土木・建築 (Civil Engineering/Architecture), 農林・水産 (Agriculture/Fisheries), 信頼・通信 (Reliability/Communication), 燃料 (Fuel), 化学製品・化学薬品 (Chemical Products/Chemical Drugs), and その他 (Others). At the bottom, there is a note in Japanese: 'バイオマスマーク認定商品の検索はこちからできます。(認定商品は依次公開中です。)' (You can search for Bio-Mark certified products from here. (Certified products are released sequentially.))